



晩婚化・少子化・日本人消滅

福岡市医師会 常任理事 佐野 正敏

福岡県の学校保健協力事業は、福岡県医師会と福岡県産婦人科医会・福岡県精神病院協会が支援する形で発足し、全国に先駆けて、産婦人科・精神科の専門医による健康教育「性と心の健康相談」が1985年から試行され、1990年から福岡県内の公立高校に産婦人科専門医を派遣して、生徒の保健教育に取り組み、現在90校と5校の市立高校において実施されています。

私は平成24年度(2012年)から前医の高校を引継いで、年に1回の講話と2回の個別面談を行なっています。一番戸惑ったのは授業時間の短さでした。90分や180分授業にすっかり慣れていたためです。初年度は45分授業とは知っていたものの50枚のスライドを準備して時間不足でチャイムが鳴った時には、冷汗が出て残った10枚のスライドをあわてて流し、各組に2部づつ渡して置いた「プリントを読みなさい」と閉めました。

授業の内容は年を追って変遷しますが基本的な道筋に大きな変更はありません。(1)生命の誕生と進化、(2)人口減少・晩婚化・高齢妊娠の問題点、(3)性活動・性感染症・性被害、(4)児童虐待の予防、(4)スマホ・LINEが脳(前頭前野)を破壊する、(5)健全な「リプロダクション」とは?の5大項目です。授業の楽しみは、約1ヶ月後に郵送されてくる各組2名の生徒さんの感想文を読むことです。

多くの生徒さんが「生命の誕生」に対して興味を持った感想を書いてくれます。「45億年前に地球が誕生し海洋が誕生した約40億年前の、分厚いメタンの大気で被われ太陽の光がほとんど届かない冥王期の地球でどのようにして生命が誕生したのか?」、「全ての地球生命はどうして自己複製(=reproduction)をDNAシステムに依存しているのか?」、「どうしてL-アミノ酸だけなのか?」等、書き出せば切りがないので止めます。

「スマホ・LINEが脳(前頭前野)を破壊する」は、平成30年の十四大都市協議会の講演会における東北大学の川島隆太教授らの調査報告(仙台市立中学生2万2390名)と脳科学(脳血流SPECT検査)による前頭前野の血流減少の知見の説明です。家庭や教諭の理解が追いついていないのが問題です。

「人口減少」では「出生率の低下」を取上げます。わが国の出生率の低下の原因は「晩婚化・高齢妊娠」であり「少子化」です。女性の卵子は年齢と共に老化し消滅していき、特に37才を境いに妊娠率が急激に低下します。慶應義塾大学病院の吉村先生は「間違いだらけの高齢出産:新潮社(2013年6月)」の中で以下のような警鐘を発しています。「50才でもし妊娠できたとしても、子供が成人する時の母親は70才です。」子供が10歳のころに親が退職となります。また

その頃には、親の両親が高齢化し、介護が必要になります。「超高齢化出産が一般化すれば、育児と介護を同時に行う親が急増し、社会問題化します。育児と介護の両立ほど難しいものはありません。」一部の生徒さんはまじめに少子化問題を理解し、少子化は社会のリスクであるという多くの感想文をいただきました。

2017年8月に講談社から発行された「未来の年表」－人口減少日本でこれから起きること－：(著：河合雅司)というタイトルの現代新書が恐ろしい。年表のいくつかを抜き出しますと、「2020年：女性の半数以上は50歳超え」、「2027年：輸血用血液の不足」、「2033年：3件に1件が空き家に」、「2040年：自治体の半数が消滅」、「3000年：日本人1,200人」等々、見通しは暗然たるものです。最も懸念されることは、最近の5年間で20歳台人口が90万人減少したことだそうです。このままの状況では20年後には20歳台の男性人口は更に100万人も減少し、その結果として、自衛官・警察官・海上保安官・消防士といった公務員の3K職種では例外無く後継者不足となり、離島や農村部に外国人が大挙移住しても排除が出来なくなるであろうと警告しています。また、道路・通信網・上下水道等のイ

ンフラを整備する役所自体が機能しなくなる可能性が大きいという、恐怖の「近未来年表」です。

第2部に「日本を救う10の処方箋」の提案があります。処方箋1の「高齢者を削減」が面白い。65歳以上を高齢者と定義したのは、19世紀ドイツのビスマルクとのこと。この古い定義を書き換えて「75歳～80歳以上を高齢者」とすれば済むだけの簡単な処方箋（しかし出産能力が増える訳ではなく人口増加はない）。「技能労働者を増やせば良い」などは運用如何では最も亡国への近道ではないだろうか（自衛官や警察官に外国人を雇用するなど）。「第3子以降に報奨金を出す」という処方箋10は理想に近いが、フランスやドイツのように報奨金を受取る人々のほとんどが外国からの移住者（という説あり）とならないかが心配である。

せっかくの常任理事だよりも「楽しい未来」ではなく「暗い未来」像を描いて申し訳ないと思っています。高校で教えた若い男女が自覚を持って子沢山の家庭を作り、社会全体でそれを支援して、将来のわが国を「本当に担ってくれること」を期待しています。

「隗より始めよ！」で間に合いますか？